

消防操法の技術を披露しました
「八峰町消防操法訓練大会」

7月5日、平成21年度八峰町消防操法訓練大会が旧峰浜庁舎跡地で行なわれ、参加した町内の全15分団は、日頃の操法訓練の成果を競い合いました。

競技は、自動車ポンプの部と小型ポンプの部の2つの部で行われ、各分団は本番さながらに真剣な表情で、きびきびとした動作を披露していました。

●大会の結果
■小型ポンプの部
優勝・・・第10分団浜田班
準優勝・・・第10分団本館班
第3位・・・第6分団(瑞・大信田)
第4位・・・第12分団(中・浜)



日頃の訓練を披露

町内の小中学生が外国人留学生と
異文化交流しました



すっかりお友達に

7月10日から11日にかけて、国際教養大学の外国人留学生が八峰町を訪れ、小中学生らと異文化交流事業を行いました。

10日は、八森・峰浜両中学校の英語の授業に5名の留学生が参加し、お互い英語で自己紹介を行い、英会話を楽しんでいました。

また、この日参加した留学生は、町内の家庭にホームステイし、11日は埴川小学校・水沢放課後児童クラブで交流を行いました。

今回ホームステイをしたご家庭からは「とても楽しく過ごすことができました。次回も楽しみです。」などの意見が寄せられています。小中学生のいるご家庭の皆さん、ホストファミリーとして登録してみませんか。

第22回ホタルフェスティバル
大自然を満喫

7月12日、第22回ホタルフェスティバルが水沢ダム下流の「ホタルの里広場」で開催されました。

これは若子・大久保岱自然の里の会(田村博会長)が水沢川の美しい自然を楽しんでもらおうと毎年開催しているものです。

この日は大勢の親子連れが訪れ、子供たちは水路に放流されたイワナをつかみ捕りしたり、バーベキューで自然を満喫していました。夜にはお待ちかねのホタルを鑑賞し、夏の思い出に一ページを加えました。



大好評だったイワナのつかみ捕り

「全国訪問おはなし隊」
沢目子ども園に来園



みんな真剣に聞いていました

7月14日、「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」(谷道子隊長)が沢目子ども園に来園し、おはなし会が行われました。

このおはなし隊は、最近の子供たちが本離れ・活字離れしていることから、絵本と親しむ機会を提供することを目的として、平成11年から講談社が全国各地をたくさん巡る絵本を積んだキャラバンカーで巡回しているものです。

当日は、沢目子ども園の園児のほかボプリの会も参加し、子供たちはおはなし隊による絵本の読み聞かせや大型紙芝居、またキャラバンカーに積んでいる絵本を読むなど楽しい一日を過ごしました。

海水浴シーズン到来
「海開き神事」

7月17日、岩館・滝の間海岸が海開きされ、岩館海浜プールYOU遊海館で神事が行われました。

この日は、町や議会、観光協会関係者や町民ら約20人が参加し、「無事故で、大勢の海水浴客が訪れますように」と祈願しました。

また、この神事に先立ち、たくさん観光客が安心して楽しめるように、海岸のクリーンアップを行ったほか、八峰消防署の救急隊員を講師に心肺蘇生法などの海難救助訓練を行いました。

海開き当日は好天に恵まれ、海水浴客が暑い夏を楽しんでいました。



無事故を祈願

岩館地区の伝統祭り
「岩館神明社祭典」



元気いっぱい担いだよ

7月15日から19日にかけて岩館神明社祭典が行われ、19日には岩館海洋少年団の子供たちが、「ワッショイ、ワッショイ」と元気にみこしを担ぎながら岩館、小入川地区を練り歩きました。

子供たちは元気に岩館生活改善センターを出発。子供たちの元気なかけ声を聞きつけて、沿道には多くの町民が集まり、「頑張っ〜」などと声援を送っていました。

約3時間にわたる長い道のりでしたが、子供たちは疲れを見せずに最後まで元気なかけ声を上げていました。

水沢小学校児童が
「人権の花」をプレゼント

7月21日、水沢小学校児童会マナー委員会の5・6年生が松波苑、沢目子ども園、峰浜郵便局、はつらつ苑の4カ所を訪問し、「人権の花」をプレゼントしました。

この「人権の花」は、法務省が提唱する「人権の花運動」として、6月11日に人権擁護委員や保護者と協力して、全校児童がマリーゴールドやサルビアなどの苗をプランターに植栽し、朝の水やりや草取りなどの世話をして大切に育ててきたものです。きれいな花を咲かせたプランターを贈られた施設の方々は、大変喜んでいました。



一生懸命お世話しました

夏の伝統行事
白瀑神社例大祭「みこしの滝浴び」



勇壮な姿が観客を魅了しました

8月1日、八峰町の夏の風物詩として定着した伝統行事、白瀑神社例大祭「みこしの滝浴び」が行われました。みこしが滝に入るのは全国でも珍しく、この祭りを一目見ようと、今年も町内外からたくさん見物人が訪れました。

午前7時過ぎ、白装束に身を包んだ男衆が「わっせ、わっせ」と威勢の良い掛け声とともに、みこしを担ぎながら白瀑神社を出発し、八森地区を練り歩きました。

午後1時頃、神社に到着したみこしは、そのまま一気に滝つぼへなだれ込みました。落差約17メートルの滝を浴びながら乱舞する独特の光景に会場からはどよめきと大歓声が沸き起こり、カメラマンからは一斉にフラッシュが浴びせられました。